



栄光の未来

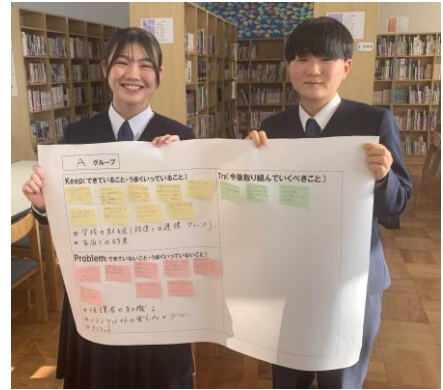
R5.12.15

第17号

メディアコントロールの重要性を考える

今、若者の時間の過ごし方で、TVやビデオ、DVDの視聴や、スマホ・タブレットによる通話やメール、ゲーム、YouTubeの視聴といった、いわゆる「メディア」に触れている時間が多いことが問題となっています。昨日、東石山中学校区の小中学校の教員・PTAの代表や、学校医等が集まって「学校保健委員会」という会が開催されました。その場で、小中学生のメディア利用の各校の実態を共有し、課題解決に向けての話し合いを行いました。

ここに、中学生代表として保健委員長の佐藤允南さんと副委員長の近藤莉未さんも参加し、話し合いをリードしてくれました。大人に交じった中で堂々と自分の考えを述べる2人の姿はとて立派で、さすが東石山中のリーダーだと感心しました。



近藤さん(左)と佐藤さん(右)話し合いの中心的存在でした！

学校医の先生からは、メディアの過度な利用によって、ドライアイをはじめとする目の異常や大音量での音楽試聴による難聴、運動不足、集中力の欠如、学力や認知機能の低下、電磁波による悪影響の心配など、多くの問題が生じることを指摘されました。

自分も、メディアが心身に及ぼす影響を調べたことがあります。大脳には前頭前野と呼ばれる「人間らしさ」を司る部分があり、その働きがメディアの過度な利用によって阻害されるそうです。



冬休みまであと1週間となりました。毎日の学校生活から離れ、自由な時間が多くなる期間です。有意義な休みとなるよう、心身の健康を整えるとともに、過ごし方について今から考えておくことが大切になってきます。特にメディアの利用については、自分で目標を決め、自分自身でコントロールできるようになることが求められます。今から、その準備をしていきましょう。

生徒会四役を認証！

生徒会役員選挙で選ばれた令和6年度の生徒会四役の認証式が、12月5日(火)の生徒朝会で行われました。そこで、次期生徒会長の鈴木紗來さんをはじめ四役全員が述べた決意の言葉に、頼もしさと期待感を感じたのは自分だけではなかったはず。



やる気に満ちた新生徒会四役の皆さんです！

東石山中のさらなる発展に向けて全校をリードするメンバーです。前例踏襲を是とせず、新たな歴史を全校生徒で創造していくことは、楽なことではありません。しかし、その困難を全校が一丸となって乗り越えていく先には、今以上に素晴らしい東石山中の姿があるはず。 「目指す姿」「ありがたい自分たちの姿」を描き、新たな学校づくりを生徒の手によって推進することへの力強い挑戦を期待しています。